

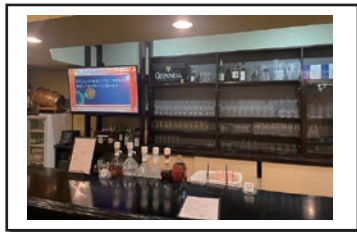
会員のひろば

移動しなくていい夜へ！鳥あえずが仕掛ける“館林回遊型”酒場！



カラオケ酒場 花花

- ◆代表：島田 織滋
- ◆住所：館林市緑町1丁目30-1
田中ビル2F H号室
- ◆TEL：0276-51-8014
- ◆営業時間：18:00～24:00(L.O.23:00)
- ◆定休日：日曜日



焼き鳥居酒屋「鳥あえず」が、2026年4月10日、新たな挑戦として2店舗目「カラオケ酒場 花花」をオープンした。コンセプトは明快だ。「館林の夜を、移動せずに楽しめる場所」。鳥あえず周辺は飲食店が集まるエリアだが、1軒目の後に“もう少し飲みたい”“軽く歌いたい”と思っても、移動の手間からそのまま帰宅する人も少なくない。そこで同店は、2次会・3次会需要を狙った“ちょうどいい距離感”の店づくりを目指した。店内は落ち着いた照明とシンプルな内装で統一。カウンター席とテーブル席を備え、少人数でも団体でも入りやすい空間となっている。さらにカラオケ設備を導入しながらも、料金設定はかなり抑えめ。飲み放題は初回1時間2000円、延長1時間1000円。ドリンクやフードもリーズナブルで、「気軽に立ち寄れる」ことを重視しているのが分かる。さらに特徴的なのが、“持ち込みOK”という自由度の高さだ。フードもドリンクも持ち込み可能としており、利用者それぞれの楽しみ方ができるスタイルを採用。仲間同士

で好きな料理を持ち寄ったり、2軒目で軽く飲み直したりと、従来のカラオケ酒場とは少し違う柔軟さがある。今後は夜だけでなく、昼間の活用も視野に入れているという。店内にはモニターやパソコンも用意されており、会議や打ち合わせ、ワークショップなどへの利用も想定。単なる“飲み屋”ではなく、人が集まり、交流し、何かが生まれる場としての可能性も感じさせる。「飲み歩く街」ではなく、「エリアで夜を楽しめる街」へ。花花の到店には、そんな館林の夜に対する視点も感じられる。鳥あえずで食事を楽しみ、その流れで花花へ。地域の飲食店同士が回遊性を生み出していき、新しい夜の形が少しずつ始まっているのかもしれない。

◆Instagram：
@karaokesakaba.hanahana



看板は佐野ら一めん、実は味噌も人気 独楽の魅力とは！



佐野ら一めん 独楽

- ◆代表：小倉 康成
- ◆住所：館林市楠町3622-4
- ◆TEL：0276-55-8281
- ◆営業時間：
11:00～15:00(L.O.14:30)
17:00～21:00(L.O.20:30)
- ◆定休日：不定休



2020年6月にオープンした佐野ら一めん「独楽」は、“正統な佐野ら一めん”を掲げる一杯で地域に根付いてきた。透き通ったスープと毎日でも食べられる優しい味わいを特徴とし、昼時には地元客を中心に多くの来店客でにぎわう。同店ではリーズナブルな価格帯にもこだわっており、ラーメンとともに人気を集めているのが大きめの餃子。もちっとした食感の皮が特徴で、佐野ら一めん店らしい存在感のある一品として来店客から好評を得ている。また、「佐野ら一めん」を看板に掲げながらも、意外にも評判が高いメニューが「味噌ら一めん」。常連客の中には味噌ら一めんを目当てに来店する人もいるという。原材料費の高騰が続く中でも、同店は価格を据え置きながら営業を続けている。特に餃子3個と半ライスが付く300円のセットメニューは「利益がほとんど出ない」としながらも、来店客に満足してもらいたいという思いから継続しているという。一方で、店舗周辺の立地的な課題から夜間の集客には苦戦しており、今後は夜間の集客が課題

だと話す。テイクアウトやUber Eatsにも対応。今後は持ち帰り需要への販促強化も視野に入れている。宴会や会合などでの貸し切り利用にも柔軟に対応しているという。今後については「大きく変えるというより、今の味とスタイルを守っていきたい」と現状維持を基本方針とする。6月頃からは季節限定で冷やし中華(税込1000円)とざる中華(税込750円)の提供も予定している。過去には地域イベントなども積極的に参加しており、地域に根差したラーメン店として、今後の展開にも期待が集まる。

